

## ヒルシュスプルング病

生まれつき腸の運動をつかさどる神経が発達しておらず、腸がうまく動かず便やガスをうまく排泄できなくなる病気です。

生後 1 日以内で見られる胎便排泄が遅い、新生児期からおなかの張りが長く続くといったことで見つかることもあります。神経が無い部分のごく一部である場合、大きくなってから長く続く便秘といった症状で見つかることもあります。

治療としては神経が発達していない動きの悪い腸管を切除します。